感性にふれる生物多様性 (海遊館と二フレルの試み)

「つなげよう、支えよう森<mark>里川海</mark>」 ミニフォーラム in 吹田

平成28年1月20日(水)

主催:環境省

共催:吹田市、大阪大学環境イノベーションデザインセンター

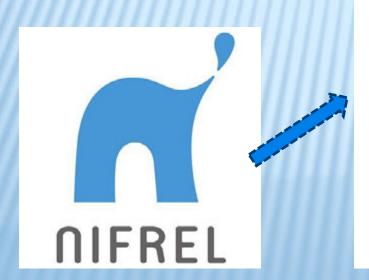
(株)海遊館 海遊館館長 西田 清徳





海遊館は(公社)日本動物園水族館協会 JAZAに加盟 ニフレルも加盟予定







JAPANESE
ASSOCIATION OF
ZOOS AND
AQUARIUMS

日本 動物園 水族館

協会

動物園89

水族館

基本は協定し

環境省自然 環境局

生物多様性保全の推進に関する基本協定書

- × 2014年6月に環境省自然環境局と JAZAの間で締結。
- * 生物多様性の主流化に向けた活動、 絶滅危惧種の生息域外保全を始めとする 野生動植物種の保全、外来種対策、普及啓発 その他の活動に関する連携が主な目的。

海遊館で開催中の企画展示琵琶湖・淀川・大阪湾

~水のつながりと生き物たち~



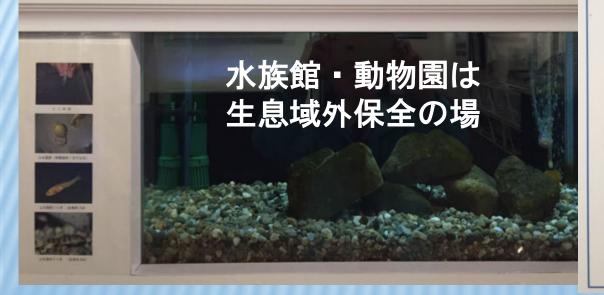
守ろう アユモドキ! 連携展示

アユモドキ

琵琶湖博物館では、1982年6月に現在の京都府南丹市で保護された

アユモドキを代々繁殖させて「生息域外保全」を続けてきました。

展示中の個体は、2013年6月に人工授精によって繁殖した個体です。



協力施設



■「守ろう アユモドキ!連携展示」は、次の施設で 開催します。

施設名	電話番号
大阪府環境農林水産総合研究所水生生物センター	072-833-2770
海 遊 館	06-6576-5501
亀岡市文化資料館	0771-22-0599
京都水族館	075-354-3130
神戸市立須磨海浜水族園	078-731-7301
滋賀県立琵琶湖博物館	077-568-4811
志摩マリンランド	0599-43-1225
世界淡水魚園水族館	0586-89-8200
姫路市立水族館	079-297-0321
宮津エネルギー研究所水族館	0772-25-2026
宮島水族館	0829-44-2010
	(あいうえお順)

頻何期間は施設により異なります。お問い合わせのうえ、お出かけいただきますよう

お願いします。

シンポジウム「生物多様性ってなく」

~琵琶湖・淀川・大阪湾から考える~」







直質需長城市立朝日小学校

外来生物問題の普及啓発

外来種はどこでどんな問題を どうして特定外来生物になってしまったの? 私たち人間が原因?! おこしているの? HER BURNOTEN CONCENSÉRICESÉTY, LOCUE EN FROBEIROT, MERIZAMBROCCIES, BIDROJOBINADO PIBROSÉRIOLOS SAFERBETA MERICÉTETY/OCY. 外来種問題ってなに? もともといなかった生きものが 大規則を起こしている?! もともとはいなかった音が色像と、人類によって持ち込まれ たなかものを「外角性」から元素を引きないです。 いき、九年度が主意系がパランスをくずすなどして、大きな 物能となっています。 TO COURSESSEE SERVICE CONTROL でも、こうしたものものできる場所できたのは人物です。 ペットや観音を、意味のため、対象といっしょに知らない うちに達れてきてしまったものも、 たくもといれる様では くくらつうに生活していたので、人によって中ではおりでき OPSESSO, CALCULATURE BUCKERS. THREEMPRESSET 外来種は どんな影響をあたえるの? ERROT MANUFERFARENCECUTURY DETERMINENTS

ボタンウキクサ



ヌートリア



大阪湾のスナメリ調査



大阪の南部では ナメツン、ナミウオ などと呼ばれる。

Neophocaena asiaeorientalis

船から目視調査

- ・海水運搬船「かいゆう」の往復航路を 利用(年間132往復)
- 発見時刻、発見場所の緯度・経度、 発見頭数を記録



海水運搬船「かいゆう」



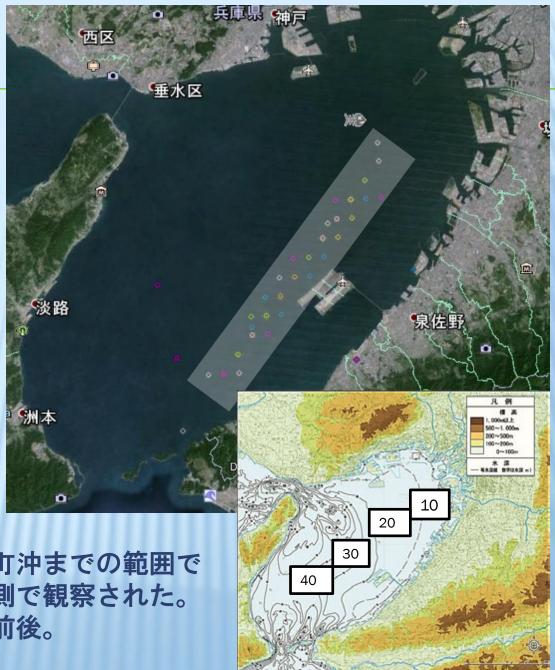
報道機関や一般の皆様の協力も得て



どこで発見?

年	回数(回)	頭数(頭)
2010	19	86
2011	29	66
2012	30	124
2013	19	78
2014	27	66

年によって変動はあるが、 2010年から2014年までに 124回420頭の姿を発見。



岸和田沖~岬町沖までの範囲で 特に関空の西側で観察された。 水深は20m前後。

企画展開催







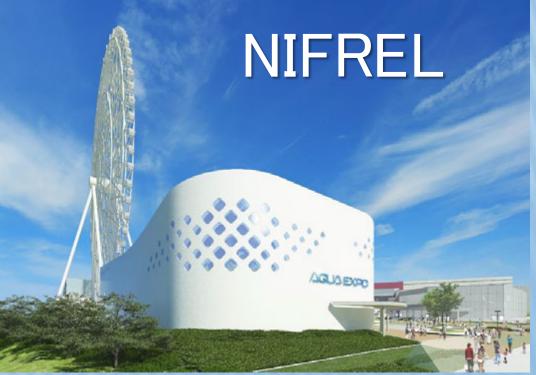






1990年 7月20日 オープン

2015年 11月19日 オープン



ニフレルのコンセプト

生物多様性を守ることの大切さを伝えるために



水族館、動物園、昆虫館、博物館 etc. の区別は不要?

展示を窓から覗くのではなく 展示空間に入って、感じていただく インスタレーション(現代美術の表現手法)

水族館でも動物園でも美術館でもない 生きているミュージアム ニフレル

色彩・行動・形態の多様性





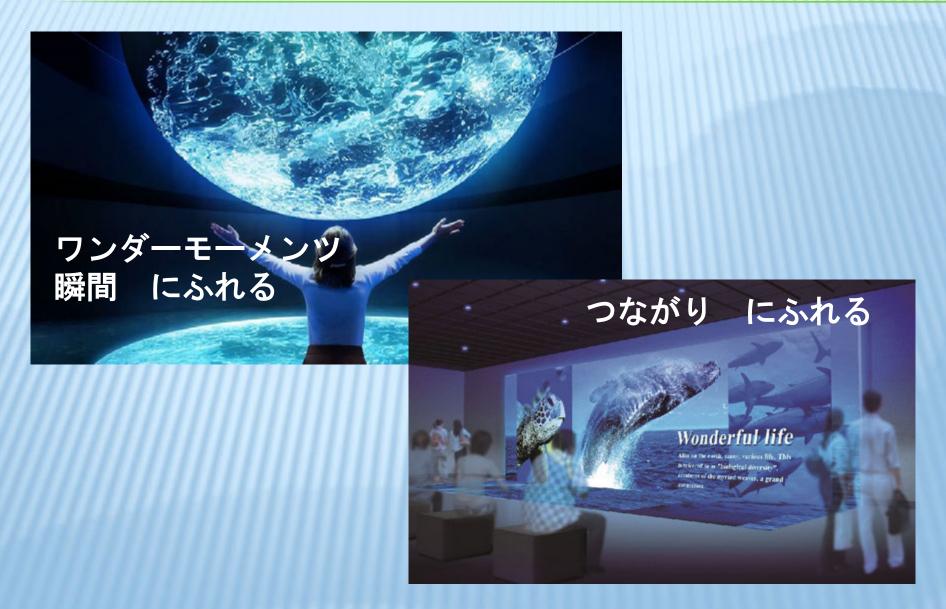


空間の共有

インスタレーション



音や映像から生物多様性を体感



これからの海遊館とニフレルは?

水族館の使命を忘れず、 生き物や自然の 素晴らしさと大切さを 伝え続けたい!

持続的 (sustainable) であること 進化 (evolution) すること 生物多様性 (biodiversity)を すること センス・オブ・ワンダー (感性) に訴えるこ